



三春牛乳をパッケージで復刻

普及だより たむら

No.226 2025.6

編集・発行
県中農林事務所田村農業普及所
田村郡三春町熊耳字下荒井176-5
TEL 0247-62-3113
FAX 0247-62-6069

おいぬま ひでゆき
ごあいさつ(田村農業普及所長 生沼 英之)



新緑がまぶしい季節となり、田村地域でも田畑が活気づき、農作業が本格化しています。
 新年度が始まり2か月が過ぎ、地域農業の振興に向けて、担い手の育成・確保や地域計画の見直し等が重要となります。若手農業者の支援や技術指導を通じて持続的に発展する農業を支援し、省力化や収量向上を図るスマート農業や、環境負荷低減の推進に取り組んでまいります。
 豊かな自然と先人の知恵を未来へとつなぎ、次世代を担う農業を築くため、皆様と連携しながら取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

新しい指導農業者さんを紹介します！

はせがわ のぶひろ
長谷川 伸広さん (小野町：肉用牛肥育)

指導農業者とは、優れた農業経営を行いつつ、新規就農者等の育成に指導的役割を果たしている農業者を県知事が認定する制度です。

令和6年度に、当管内から長谷川伸広さんが新たに認定されました。伸広さんは、県内外に牧場を有する(株)伸ちゃん牧場の常務取締役として、両親とともに肥育経営に取り組まれています。これまでも、県農業短期大学生の研修を度々受け入れていただくなど、若手農業者の育成に貢献いただいております。

引き続きのお力添えをよろしくお願いいたします！



【令和7年度指導農業者、青年農業者の皆様】

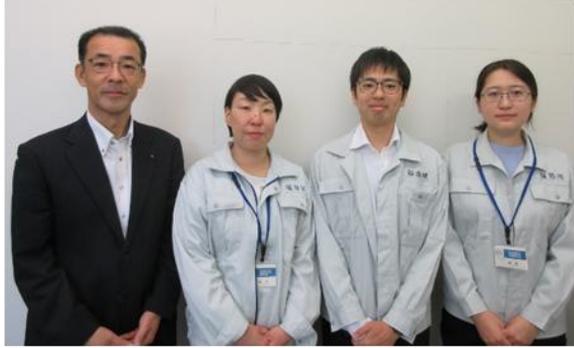
指導農業者 士 (9人)	渡邊義輝 (田村市常葉町：葉たばこ)	猪狩徳孝 (田村市大越町：施設野菜)
	筋内倉貴 (田村市船引町：施設野菜)	壁谷和男 (田村市船引町：水稻)
青年農業者 士 (2人)	渡邊文武 (田村市船引町：葉たばこ)	佐藤富美子 (田村市船引町：野菜)
	大内俊昌 (三春町：施設野菜)	長谷川伸広 (小野町：肉用牛肥育)
	橋本祐子 (小野町：酪農)	
	面川仁 (田村市船引町：肉用牛繁殖・肥育)	大橋直哉 (田村市大越町：葉たばこ)

令和7年度 職員紹介

担当
・名前
・一言

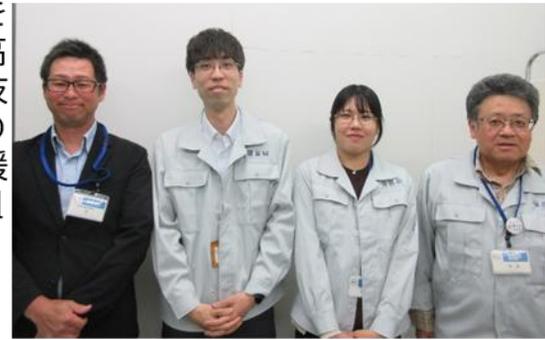
畜産

- ・所長 生沼英之
- ・経営支援課長 横田和子
- ・技師 三宅巧馬 ・技師 齋藤朋華
- ・畜産業の生産力向上をめざし、和牛子牛の生産技術支援や、酪農家の牛群検定活用支援、自給飼料生産支援などに取り組んでいます。



野菜

- ・次長兼地域農業推進課長 星輝幸
- ・副主査 小川佳祐 ・技師 石井詩歩
- ・専門員 佐藤正武
- ・品質安定・収量向上に向けた施設栽培技術の支援をはじめ、天敵農薬を活用した環境負荷の低減と作業の省力化を図る技術、遮光・遮熱資材を用いた高温対策技術などの導入支援に取り組んでいます。



花き

- ・主任主査 高津顕一
- ・主査 山崎優美子
- ・夏冷涼な田村の花は高品質で市場でも高評価、昨年は県品評会で金賞W受賞しました！



作物

- ・主査 内山かおり
- ・技師 旭文暉
- ・水田の担い手確保のため、規模拡大志向者を重点にドローンや自動操舵システム、直播栽培等の導入を支援しています。事業活用や新技術導入等にご興味のある方は、普及所に御相談ください。



果樹

- ・専門員 半谷広
- ・近年、田村地方では果樹栽培のすそ野が広がりつつあり、特にブドウ栽培に取り組む方が増えています。興味がある方は、ぜひ一度普及所に相談してください。



シャインマスカット



有機農業

- ・主任主査 木幡由美子(野菜)
- ・技師 八代祐弥(作物)
- ・農業総合センターで中通り地方の有機農業を担当しています。

今年は、エゴマの有機栽培の実証ほを設置します！
船引町荒和田本郷の田村市エゴマ振興協議会のほ場です。
ぜひお越しください。



未経験から農業参入！ピーマンの新規就農者を紹介します！ ～三春町 黒羽実樹さん(就農3年目)～

令和4年に田村地域就農支援プロジェクトに相談、研修先の決定、農地の確保、事業活用等の支援を受け、就農準備を進めました。

三春町内の認定研修機関で1年間ピーマンの研修を受け、令和5年に就農（ピーマン露地・トンネル栽培）し、認定新規就農者となりました。

1年間しっかり研修を受けたことで、就農1年目から管内のピーマン平均単収を超える成績を収めています。

また、県農業経営・就農支援センターの支援を受け、令和7年に法人化を行い、今後さらに規模拡大を目指しています。



普及たよりNo.225
も要チェック👉

田村農業普及所は新規就農者を全力でサポートいたします！
農業に興味がある方はぜひご相談ください。

第三者認証GAPに取り組んでみませんか

GAPとは「Good Agricultural Practice」の略称で、農業生産工程管理と訳されます。生産工程の中で、適切なやり方を決めて実践し、適正に行われているかチェックし改善していく活動のことです。

県では、農産物の安全性を客観的に担保したものを消費者に届けるためGAPの取組を推進しています。またGAP取組により、農作業事故防止、食品事故（異物混入等）防止、経費の節減による経営改善等に役立ちます。

令和6年度は、新たに4名がGAPを取得し、現在までに29名の方が取り組まれています。

GAPで期待できること

食卓に
安全を
届ける

環境に
やさしい

農業者の
笑顔を守る

GAPに取り組むことによって、作業の効率化が図れるとともに、食の安全性を始め、自然環境や人権、労働環境などにも配慮した、持続可能な農業経営の実現につながります。

出典：F G A Pパンフレットより

優良子牛を生産しましょう！

令和7年2月12日、JA福島さくら西部営農経済センターとの共催で、三春町内の和牛繁殖農家の皆さんを対象に畜産繁殖技術セミナーを開催しました。

「よりよい子牛の生産技術について」というテーマで、県畜産研究所沼尻分場の研究員から子牛飼養管理のポイントを講義いただきました。本県の和牛子牛市場では、発育良好な体重の大きい子牛が評価される傾向にあります。出生から5ヶ月齢頃まではスターターなどの配合飼料主体、6ヶ月齢以降は良質な乾草主体と、子牛の月齢に合わせた飼養管理を行い、「よりよい」子牛を生産しましょう！



セミナーの様子

TOPICS

○スマート農業の推進について

県では、生産力向上を目的とし、GPS位置情報の補正情報をスマート農機に提供するRTK基地局を県内一円に設置し、令和7年4月から運用を開始しています。

また、システムを活用するスマート農業関連の機械等の導入を支援するための補助事業「GPS活用によるスマート農業加速化推進事業」の募集が6月2日～6月20日に行われます。

ご不明点については、田村農業普及所までお問い合わせください。

【申請受付窓口】

福島県県中農林事務所農業振興普及部（農業振興課）

住所：郡山市麓山一丁目1番1号 電話：024-935-1307



【参考】

- 県農業振興課HP 福島県高精度測位システム（福島県RTKシステム）について
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/fukushima-rtkssystem.html>
- 県農業振興課HP 【令和7年度】（補助事業）GPS活用によるスマート農業加速化推進事業について
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/rtk-gps-hojo.html>

○雇用者への熱中症対策の義務化について

熱中症の重篤化による死亡災害を防止するため、厚生労働省において、労働者を雇用する全ての事業者に対して、雇用者への熱中症対策を義務付ける労働安全衛生規則（省令）の改正に向けた作業が進められており、今年6月1日に施行されました。

規制対象には農業者も含まれ、労働者を雇用する農業者や農業法人において、雇用者に熱中症があった際に対応できるよう「早期発見のための体制整備」、「重篤化を防止するための措置の実施手順の作成」を行い、その内容を雇用者へ周知することを義務づけるもので、適切に行わなかった場合の罰則も措置されています。

労働者を雇用する農業者は、必要事項を記載した「張り紙」等を事務所や作業場所内に掲示し、熱中症対策を実施するようお願いいたします。



○環境にやさしい農業に取り組んで、みどり認定を受けましょう！

みどり認定とは、みどりの食料システム法に基づき、環境負荷低減活動に取り組む生産者を認定する制度です。具体的な取組としては、土づくり、化学肥料削減、化学農薬使用削減の取組を一体的に行う活動、温室効果ガス削減の取組等があります。以前、エコファーマー認定制度がありましたが、取組内容としてほぼ同じ取組みとなる場合もあります。

認定のメリット

- 設備投資の際の税制優遇が受けられます。
- 様々な国庫補助金の採択で優遇されます。
- 日本政策金融公庫の無利子融資等が活用できます。



○堆肥を活用して土づくり

堆肥を活用することで、肥料効果だけではなく、保水能力・堆肥成分保持能力の向上等の土壌改良効果が期待できます。普及所では、堆肥舎整備やローダー・攪拌機の導入、製品堆肥の成分分析を行い、中身のわかる良質な堆肥づくりが進められている農場のリストを作成し、堆肥の活用を進めております。お気軽にお問い合わせください。

【堆肥供給可能者（一部）】

田村市	(有)ヨシダ アグリファーム	(株)フリーデン 都路牧場	(株)JA和牛ファーム 福島さくら	(有)上野牧場 都路農場
小野町	(株)伸ちゃん牧場	先崎畜産	(有)チコウテンコートレーニング センター	
三春町	三春町 堆肥センター	(有)ろーずびーふ		

○水田・畑を鳥獣被害から守り ましょう

田村農業普及所では農地の鳥獣被害対策について支援しております。イノシシ被害対策として、電気柵の設置方法が分からない等ありましたら是非ご相談ください。

水田近くに出没したイノシシ



○農薬適正使用について

農薬を使用する際は「農薬ラベル」の記載どおりに使いましょう！

- 1 使用する作物名の記載を確認**
* 作物名、適用病害虫（雑草）名
- 2 使い方を確認**
* 希釈倍数、使用量、使用時期、使用回数、使用方法、使用上の注意
- 3 必要な薬量を確認**
* 水で希釈するものは、薬量と希釈水量を正確に計量して散布液を調整